

特集 1 標準立国目指す中国情報電子産業

第 1 節 加速する国家標準制定の動き

ここ数年の IT 技術の発展と知的財産権侵害に対する取り締まり強化を受けて、中国では IT 関連分野を中心に独自標準制定の動きが強まっている。知的財産権侵害取り締まりについては、2001 年の WTO 加盟以降特に厳しくなっており、液晶テレビや DVD プレーヤーなどの中国メーカーは、コア技術の特許を有する日本や欧米のメーカーに対して、その生産台数に応じた特許ライセンス料を支払うこととなっている。

中国側が知的財産権を所有する国際標準が極めて少ない現状では、生産の度に特許ライセンス料を支払い続けなければならないケースが非常に多い。主要 IT 製品の生産増に伴い、ライセンス料の支払いは更に大きく膨れ上がっている。

こうした状況に懸念を抱いた中国政府は、国家標準の制定を全面的に推進する方針を固め、既に関連機関や企業での取り組みが始まっている。国家標準を制定することで、中国市場に参入する他国の企業からライセンス料を徴収することができ、これまでの「支払う側」から「支払われる側」へと立場が一変する。更に、国家標準が国際標準化されると、中国市場だけでなく海外での生産に対してもライセンス料の徴収が可能となり、その影響は極めて大きい。

本稿では、中国が制定する国家標準について、その背景や特徴について分析しながら、今後の展望を考えてみたい。

1. 実用化が秒読み段階に入った TD-SCDMA

2001 年に中国初の国際技術標準に認定された TD-SCDMA (Time Division Synchronous Code Division Multiple Access)。中国電信科学技術研究院や大唐移動 (大唐モバイル)、独シーメンス社が共同で開発に成功したこの標準は、非公開のまま開発が進められ、実用化のスケジュールについても不透明とされてきた。だが、05-06 年にかけて動きが活発化。3G 標準に認定され、北京市をはじめとする各地で大規模ネットワークテストが行われるようになり、ライセンス発行の時期や相手まで具体的に議論されるようになってきている。

実用化に向けて秒読み段階に入った TD-SCDMA の、この 1 年間の動きについてまとめてみた。

(1) 標準やライセンスを巡る動き

情報産業部は 2006 年 1 月、中国が独自開発した第 3 世代 (3G) 携帯電話規格の TD-SCDMA を業界標準とすることを発表した。これまで進められてきたテスト結果についても検証をクリアしたとして、生産開始のタイミングを見計らっていたメーカーの動

第5節 四大通信キャリアの状況

1. 四大通信キャリアの業績

05年の四大通信キャリアは、単純に利益だけをみると、中国電信（0728）が減益となった他はすべてが増益を達成している。上場間もない中国网通（0906）は別として、業績が際立ったのはやはり中国移动（0941）。26%の増収、28%の増益を実現しており、完全な競合である中国聯通（0762）の追従もかわした（中国聯通は10%増収、12%増益）。

図表 01-01-24 四大通信キャリアと各上場会社

グループ（漢字）	グループ（カナ）	上場会社名	証券コード	属性
中国移动集团	チャイナモバイル	中国移动（香港）有限公司	0941	レッドチップ
中国聯合通信集团	チャイナユニコム	中国聯通股份有限公司	0762	レッドチップ
中国電信集团	チャイナテレコム	中国電信股份有限公司	0728	H株
中国网通集团	チャイナネットコム	中国网通集团（香港）有限公司	0906	レッドチップ

（出典：各社発表データを基に作成）

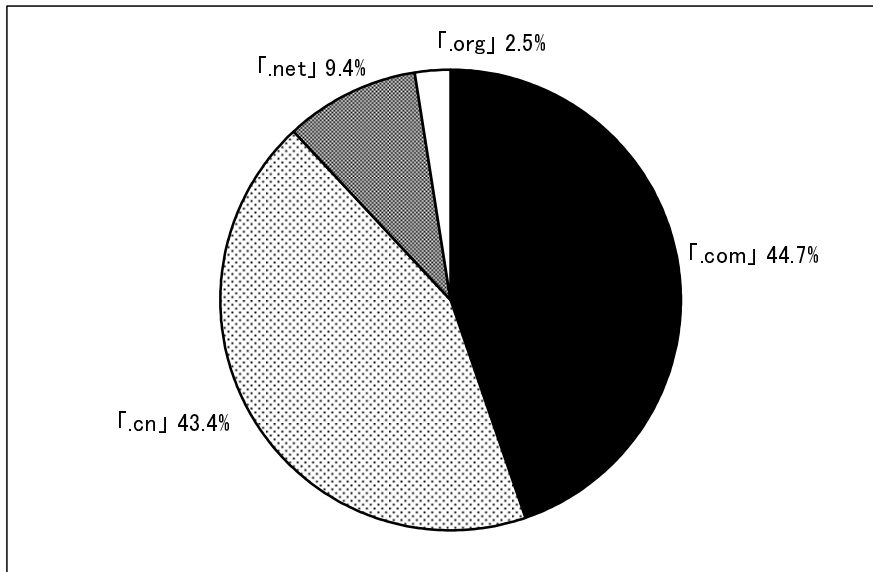
図表 01-01-25 四大通信キャリアの業績推移

項目		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
中国移动（0941）	売上高（百万元）	64,984.0	100,331.0	128,561.0	158,604.0	192,381.0	243,041.0
	営業利益（百万元）	26,826.0	41,012.0	48,796.0	53,203.0	59,734.0	73,686.0
	純利益（百万元）	18,027.0	28,015.0	32,601.0	35,556.0	42,004.0	53,589.0
	EPS（元）	1.25	1.51	1.70	1.81	2.12	2.71
中国聯通（0762）	売上高（百万元）	23,692.0	29,393.0	40,576.0	67,636.0	79,331.0	87,048.8
	営業利益（百万元）	5,222.0	5,264.0	7,323.0	8,514.0	7,956.0	7,107.6
	純利益（百万元）	3,234.0	4,457.0	4,598.0	4,217.0	4,386.0	4,931.2
	EPS（元）	0.29	0.36	0.36	0.33	0.34	0.39
中国電信（0728）	売上高（百万元）	71,021.0	68,546.0	109,564.0	151,553.0	161,212.0	169,310.0
	営業利益（百万元）	23,624.0	18,098.0	25,997.0	32,448.0	39,830.0	38,954.0
	純利益（百万元）	19,219.0	6,883.0	9,773.0	13,882.0	28,023.0	27,954.0
	EPS（元）	0.28	0.10	0.14	0.18	0.36	0.34
中国网通（0906）	売上高（百万元）	—	48,632.0	54,443.0	59,898.0	83,494.0	87,232.0
	営業利益（百万元）	—	11,942.0	11,581.0	-14,489.0	6,307.0	20,691.0
	純利益（百万元）	—	7,400.0	6,520.0	-11,111.0	9,248.0	13,888.0
	EPS（元）	—	1.35	1.19	-2.02	1.64	2.11

※親会社資産の買収など、グループ全体の再編の影響があるが、上記の売り上げや利益の伸び幅は単純に前年比を算出。

（出典：各社発表データを基に作成）

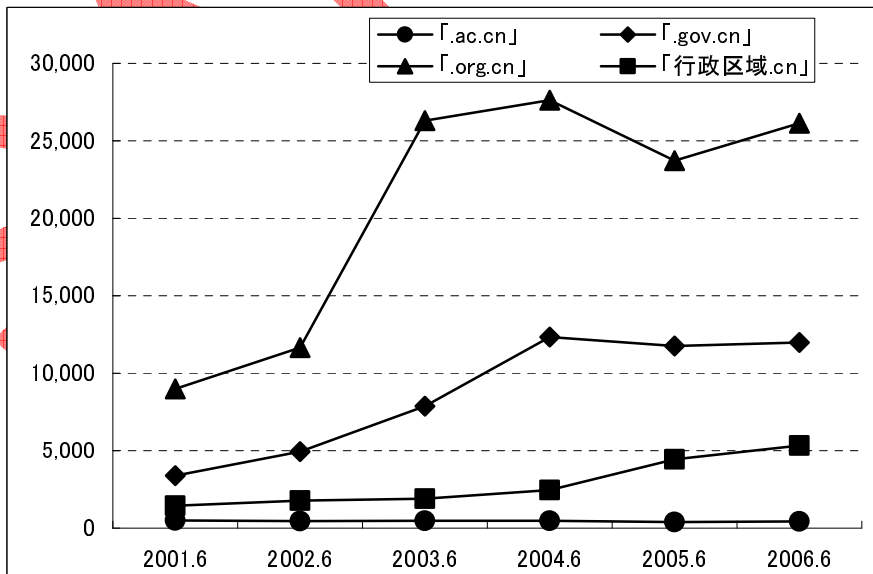
図表 02-01-11 中国のドメイン別サイト分布



(出典：CNNIC の調査結果を基に作成)

セカンドレベルドメインを含む分類で見ると、「.cn」ドメインのサイトの伸びが大きく、前年同期比 59.0%増の 174,865 件となっている。「.com (.com.cn)」ドメインのサイトは、480,485 件で同 6.9%増、「.net (.net.cn)」ドメインのサイトは、89,173 件で同 14.6%増、「.gov.cn」ドメインのサイトは 11,978 件で同 1.9%増、「.org (.org.cn)」ドメインのサイトは 26,140 件で同 10.2%増、「行政区域.cn」ドメインのサイトは 5,321 件で同 20.0%増、「.ac.cn」ドメインのサイトは 438 件で同 11.7%増となっている。

図表 02-01-12 ドメイン別サイト数の推移 (その 1)



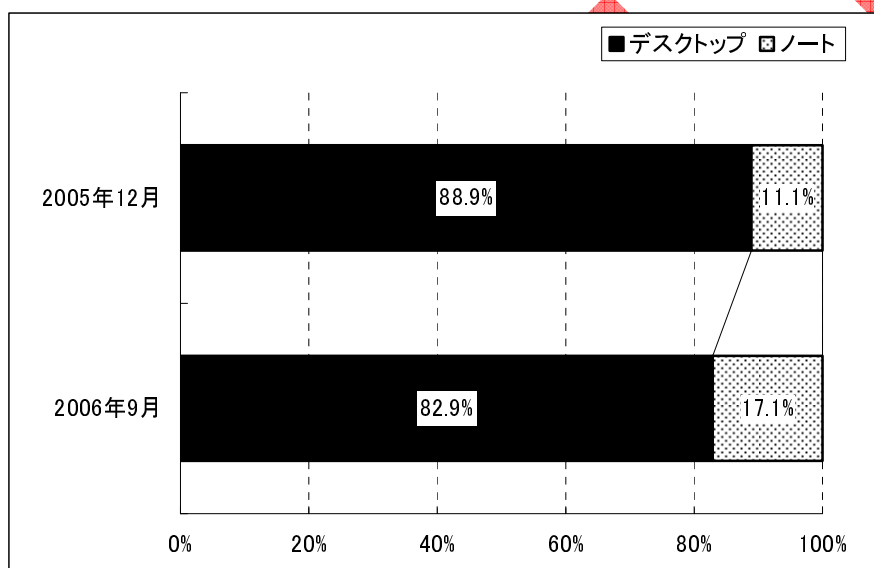
(出典：CNNIC の調査結果を基に作成)

3. 所有 PC : 8 割がデスクトップも、購入希望はノート

所有する PC の種類を尋ねたところ、8 割以上が「デスクトップ」と回答し、「ノート」を大幅に上回った。その一方、次回購入したい PC の種類を尋ねたところ、「ノート」(53.6%) が「デスクトップ」(46.4%) を上回り、ノート志向が強くなっていることが分かった。

デスクトップ PC の所有状況を見ると、地域別では北京市(70.8%)、月収別では「6000 元以上」(65.6%) でデスクトップ PC 離れが進んでいることが分かった。地域や所得による差が大きい。

図表 03-02-05 所有している PC の種類



(出典：本調査結果を基に作成)

デスクトップ PC 所有者に、保有 PC が「既製メーカー品」か「組み立て式」かを尋ねたところ、「組み立て式」が 56.4%で、前回調査同様、「既製メーカー品」(43.6%) を上回る結果となった。男女別で見ると「既製メーカー品」は女性が多く、「組み立て式」は男性が多い。また、世代や月収が高くなるにつれて、「既製メーカー品」の占める割合が大きくなっている。